

Ⅱ 集計結果

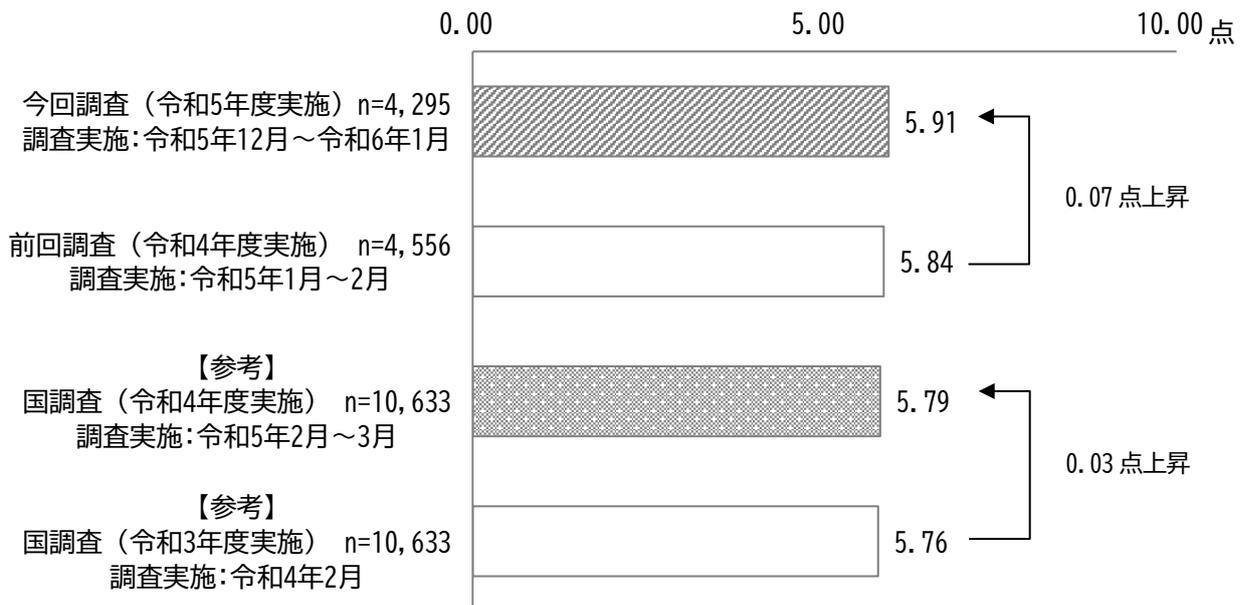
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、
何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

○ 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は5.91点で、前回調査より0.07点高くなっています。

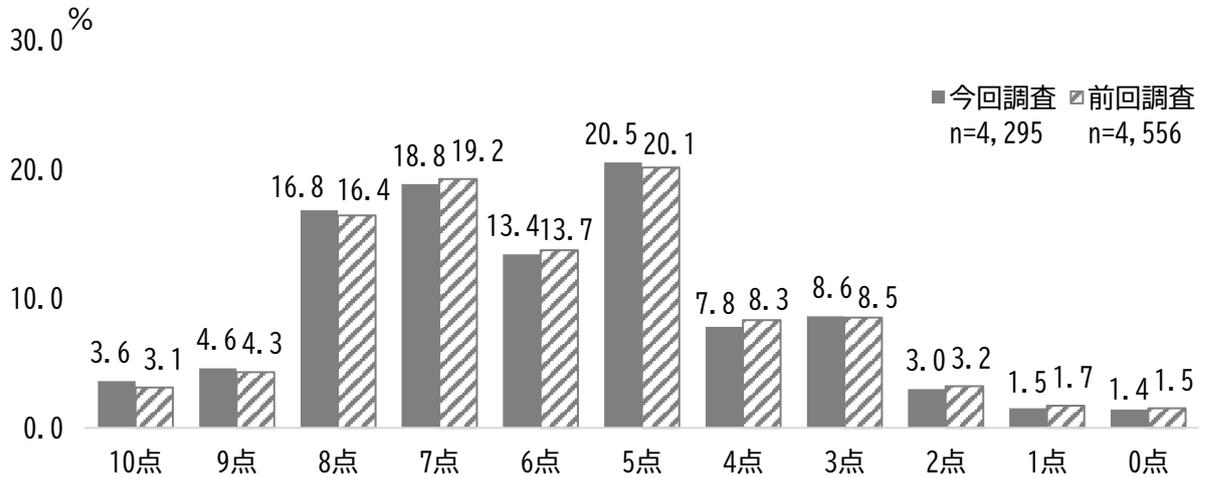
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち約6,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「5点」の割合が20.5%と最も高く、次いで「7点」が18.8%、「8点」が16.8%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、点数の順位に変化はありませんでした。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（前回調査との比較）



➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.01点で男性の5.82点より0.19点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.11点、女性は0.05点それぞれ高くなっています。
- 年齢別で見ると、18歳から20歳代が6.08点で最も高く、次いで50歳代（5.96点）、40歳代（5.95点）の順となっています。前回調査と比較すると、18歳から20歳代では変化はなく、30歳代で0.05点低くなっていますが、それ以外の全ての年齢で高くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.07点で最も高く、次いで死別（5.82点）、未婚（5.49点）の順となっています。前回調査と比較すると、死別では0.18点高く、離別で0.12点低くなっています。
- 世帯類型別で見ると、三世帯世帯が6.11点で最も高く、次いで一世代世帯（6.04点）、二世帯世帯（5.90点）の順となっています。前回調査と比較すると、単身世帯が0.08点低くなっていますが、それ以外の全ての世帯類型で高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が7.25点で最も高く、次いで専業主婦・主夫（6.18点）、正規職員（6.07点）の順となっています。前回調査と比較すると「パート・バイト・派遣」で0.09点低く、「自営業、自由業」で0.06点低くなっていますが、それ以外の全ての職業で高くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.09点で、「していない」の5.82点より0.27点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、世帯収入 1,000 万円以上が 6.89 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満 (6.61 点)、600 万円以上～800 万円未満 (6.13 点) の順となっています。前回調査と比較すると、400 万円以上～500 万円未満 (5.93 点) では変化がなく、100 万円未満で 0.95 点、500 万円以上～600 万円未満で 0.15 点、800 万円以上～1,000 万円未満で 0.03 点、わからないで 0.16 点高くなっていますが、それ以外の世帯年収で低くなっています。
- 地域別で見ると、北勢地域が 5.97 点で最も高く、次いで中南勢地域 (5.94 点)、伊勢志摩地域 (5.86 点) の順となっています。前回調査と比較すると、全ての地域で高くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値 (属性別)

